

奈良の駅 シリーズ Vol.03



いちのもの

駅名：櫛本駅



櫛本駅舎 外観

【沿革】

明治 31 年 5 月：奈良鉄道 京終～  
桜井間の開通に伴い開設  
明治 38 年 2 月：関西鉄道が奈良鉄  
道を合併 関西鉄道の駅舎となる  
明治 40 年 10 月：国有化  
昭和 62 年 4 月：国鉄分割民営化に  
より西日本旅客鉄道に承継  
平成 14 年：無人駅となる  
平成 22 年：万葉まほろば線の愛称  
の使用が開始

【駅舎概要】

所在地：天理市櫛本町瓦釜 1418  
区域区分等：商業地域  
構造・規模：木造瓦葺き平屋建て  
（待合室・事務室・休憩室・湯沸場）  
建設時期：明治 31 年頃（詳細不明）  
改修歴不明  
利用者数：2020 年（令和 2 年）度の  
1 日平均乗車人員は 689 人



跨線橋（古レールを利用して作られている）

櫛本駅は JR 桜井線の起点の奈良駅から 4 駅目で天理市に位置します。駅舎は駅前広場から 1 メートル余り高くなっていて階段を上がり待合に入ります。切妻屋根で一段下に庇を廻し、入り口には切妻屋根が付き、帯解駅や柳本駅と共に JR の古い駅舎の姿を良く残しています。待合からすぐのホームが桜井方面行で跨線橋を渡り奈良方面のホームへ。跨線橋は屋根が付けられ、両側はサッシが付いた壁になっていて雨の日も濡れないようになっています。鉄骨造に仕上げは木材が用いられ、格別な雰囲気、万葉まほろば線の他の駅舎には見られない特徴があります。

■櫛本の歴史・周辺環境等

櫛本は万葉集の歌人柿本人麻呂の氏神の柿本寺跡などがあり、太古から歴史がある地域です。在平神社、和邇神社、和邇座赤坂比古神社、赤土山古墳なども訪れることができます。地名は天狗が住む巨大な櫛（イチイ）の木があったという伝説に由来します。

上街道と高瀬街道が交叉する要地として早くから地方経済の中心となり、街道に沿って市場が開かれていました。また、上街道より東に高瀬街道に沿って伸びた部分を「馬出し」と称し、馬つなぎが家の前に付けられていて今も見ることができ、人や馬で賑わっていた様子が伺えます。「馬つなぎ」が残る町家駅舎のある瓦釜はもと農村であったが桜井線が通じ駅前が発展し、道幅も旧街道と比べると広いです。現代は国道 169 号沿いに商業施設や工場が立ち並び賑やかで、昭和 40 年に開通の名阪国道も通り交通の便にも恵まれています。



■保存・活用等

近年、JR 西日本は乗客の減少から経費の節減のために駅舎の縮小化を進めています。しかし、別の手法として駅舎をそのままにして一部駅舎機能をまとめ、そして、残りのスペースを自治体に無償譲渡します。自治体はそのスペースを改修し、周辺のまちづくり団体がそこを拠点にした活動をするようにします。これまで取り上げられた京終・帯解駅同様に櫛本駅舎も天理市と地域住民の間から保存活用への活動が動き始めています。沿線の駅舎の活用方法も参考に地域の特徴が出た内容であってほしいと思います。跨線橋は是非今の形で残して欲しいと思います。沿線の歴史的な駅舎を保存活用することで乗客も増え、地域の活性化につながります。大和路を走る路線として、いにしえの名前が付いた駅が建物も含めてこれからも歴史を刻んで行くことを願います。



プラットフォーム

【記：住まいまちづくり委員会 徳本雅代】

第32回全国女性建築士連絡協議会、いわゆる全建女が、7月29日と30日の2日間、石川県金沢市で開催されました。

今年は、『守り・育て・受け継がれる技術、手仕事～伝統工芸と建築～』というテーマの中、基調講演では、金沢学院大学名誉教授の大場吉美先生による“石川らしい文化でのおもてなし 北陸新幹線金沢駅舎は伝統工芸による「美術館のような金沢駅」”というテーマでありました。

大場先生は、石川県を中心に空間デザイン、イベント計画演出などのデザイナーとして活躍され、デザイン教育にも深く関わられています。金沢市民芸術村創立にも尽力された方で、金沢駅の演出・デザインにおいても金沢のものづくりや伝統工芸のあり方を大切にしながら取り組まれたお話をお聞きすることができました。



石川県には36品目の伝統的地場産業品があり、その産地では、多種の工程による職種の分業化が進み、その中から工芸作家や職人が出現してきたとのことでした。その36品目には、輪島塗や加賀友禅、九谷焼など誰もが知るものから、加賀獅子舞、加賀仏壇、加賀毛針など知る人ぞ知る工芸品など様々なものが含まれています。そして、金沢駅北陸新幹線駅舎内では、これらの伝統的工芸作品を見ることができるよう演出されています。

工芸品30品目・236点の代表的な作品は、16cmの丸窓の中にそれぞれ納まり展示されています。その見せ方やアイデアはとても豊富で、この小さな丸窓の中で作品の魅力が事実に表現されていました。



講演中スライドより

なかでも加賀獅子舞や加賀毛針などは、その迫力や繊細さを損なわずに感じ取ることができます。



加賀獅子舞



加賀毛針

要旨集より

また、これらの展示には、伝統工芸名は記載されていますが、著名な美術作家の展示もある中で、作家名は記載されておらず、その見せ方は多様な人々が利用する交通の結節点として検討された結果での表現方法ということでした。

駅の西口と東口をつなぐコンコースの24の柱には、県産材の能登ヒバが用いられており、柱の内側には、石川県を代表する作家が制作した多様な工芸作品の大型プレートが展示されています。これらの展示は三つの駅舎建築物の一体化を考慮した都市型内装デザインを目指してデザインされ、おもてなしドームの連続デザインを志向されたということでした。



コンコースの24の柱



和紙を貼った照明

要旨集より

その他にも新幹線ホーム階では、柱の上部に金沢の金箔「金沢箔」が使用されていたり、中2階の両側柱には、和紙をガラスで挟み込んだ照明器具などがあり、様々な作品が惜しみなく、いたるところで見ることができます。これらは日本で唯一、金沢駅が「世界で最も美しい駅14選」に選ばれている理由だと思います。

大場先生のお話をお聞きしながら、都市における駅のあり方は、その都市の伝統や文化を表現しながらも、未来を創造させる役割が必要であると感じました。

残念ながら私は新幹線を利用しなかったため、直接展示を見ることができませんでしたが、次回はぜひ見てみたいと思います。

金沢の魅力は、まだまだ宝箱の样にあると思います。皆様も、是非、一度訪れてみてください。

【記：女性委員会 委員長 寺岡春恵】

## ■B分科会 「バリアフリーのまちづくり／ みんなで考えるバリアフリー」

庄田尚代



分科会の様子

福島県建築士会の佐藤玲子氏と福島市の観光案内所職員の佐藤由香利氏のお二人が観光地バリアフリーについて発表されました。佐藤由香利氏はご自身も障がいをお持ちです。日々の観光案内という業務の中で得られた障がいがある方のニーズをもとに福島の観光バリアフリーマップを製作されました。素晴らしいマップです。

設計業務でバリアフリーというと「車椅子」を想定した計画をしますが、他に視覚、聴覚障害、知的障害や発達障害なども考慮した計画とする必要があることがわかりました。これからは多様性尊重社会に向けて様々なバリアフリーを考え、まちづくりにつなげていく必要があることがわかりました。

設計業務でバリアフリーというと「車椅子」を想定した計画をしますが、他に視覚、聴覚障害、知的障害や発達障害なども考慮した計画とする必要があることがわかりました。これからは多様性尊重社会に向けて様々なバリアフリーを考え、まちづくりにつなげていく必要があることがわかりました。



観光バリアフリーマップ

## ■C分科会 「いばらき木造塾」～伝統技術の継承～

水杉弥生

木材利用推進法が施行され、木造建築物の設計に携わる機会は以前より増えてまいりました。今回は茨城県の木造塾についてお話して頂きましたが、茨城県以外にも栃木や静岡、岐阜、島根、三重でも、木造を勉強する会を設けられているそうです。今後、木造建物は住宅に限らず公共建物や店舗、福祉施設等どんどん増えることと思います。私自身も木造の構造計算について新たな知識を模索している最中ですので、「いばらき木造塾」のように色々な分野の方が集まり、一緒に勉強ができることは、互いの弱点を補う意味でもとても有意義な会であると感じました。



勉強会の様子（配布要旨集より）

## ■D分科会 「住まい・まちづくりを考えよう」 小中学生の住教育出前講座

瓶割 環・野村亜希子

大阪府住まい・まちづくり教育普及協議会で出前講座の活動をされている、大阪府建築士会理事、竹田敦子さんよりお話をうかがいました。

子供たちが自分を取りまく住環境に興味と関心を向け、日常生活の中で自主的な判断力・行動力を育むきっかけとなるよう、府内の小・中学校にて無料の出前講座を実施されています。

出前講座のメニューは、ユニバーサルデザインや熱環境、防災やユメのまちづくり等で構成されており、クイズや体験学習、工作を取り入れて、楽しみながら理解を深めていけるような取り組みを紹介していただきました。講座の内容は常にブラッシュアップし、より分かりやすく、誰もが講師を担当できるよう工夫を重ねているとのこと。また、学校の先生方に向けた講座も実施されており、授業の中でも活用されているそうです。

無料で運営していく難しさや若い世代の講師を育成する必要性など、長く活動が続けていくための課題もありますが、子供たちに建築の楽し



分科会の様子

いところ、知っておいてほしい事を伝える大切さを改めて感じました。

## ■E分科会 「徳島型気候風土適応住宅」 基準策定への取組

相河真弓

伝統的構法の継承に配慮した徳島独自の「気候風土適応住宅」の認定基準策定を目指した取組について紹介されました。国の認定基準、告示786号による仕様に基づく場合、徳島の伝統的建築様式（夏を旨としたすまい、台風による風雨への備え）の基準適応が困難であるとして、現在建築関係4団体と行政による検討が重ねられています。徳島の建築文化継承への「熱量」を感じながら、帰路につきました。



分科会 スライド

## 第3回「まち歩き」活動報告

10月1日(日)第3回「まち歩き」を実施しました。  
実施したエリアは長柄駅➡まち歩き・山の辺の道散策➡柳本駅です。

朝、3班に分かれて総勢12名が班リーダーの引率で、予定したまち歩きコースに向け、長柄駅休憩所(トイレ併設)から傘を差して出発。(当日は雨で、気温25℃、湿度85%)

■テーマ：建築士ならではの視点で下記の五つの着目点を見て歩く

- 着目点 ①福祉・安全➡観光バリアフリー  
②駅舎・まちなみ➡駅周辺、上ツ道街道、山の辺の道集落  
③歴史的建造物等➡歴史的町家、集落の特色、部分詳細(素材・形状など)の特色  
④景観と観光➡気になる景観、良好な景観、ビューポイント、トイレ看板等の設備状態チェック  
⑤その他➡樹木  
という命題が与えられています。

リーダーを先頭に、白地図に経路の記録と「気づき点」を記録し、写真班が後を追って撮影していきます。道中、建築士会の名札ストラップを付けて調査員として責任ある行動が求められます。

①1班は伏見康司リーダーで長柄駅を東へ上ツ道を越え、R169を渡り～刀根(とね)早生(わせ)の看板を見て柿畑群～萱生(かよう)集落入り口～山の辺の道を南下～大和稚宮(おおやまとわかみや)神社(御旅所)～中山町公民館(トイレ併設)・ビュースポット～中山町集落内へ～長岳寺～天理市トレイルセンター(昼食)～柳本公民館

見どころは、①何ととっても山の辺の道散策②ほっと息をつける御旅所とビュースポットの雰囲気です。又、中山町集落はきれいな景色の住宅地です。

②2班は紀本澄男リーダーで長柄駅を東へ～大和(おおやまと)神社～上ツ道街道を南下～線路を渡り岸田町に立ち寄り～戻って、上ツ道街道～長岳寺五智堂～黒塚古墳・柳本公民館

この道筋では、④上ツ道街道の歴史を肌で感じ取り⑤大和棟を代表する裕福な住宅が立ち並ぶ懐かしいまちなみが印象に残りました。

③3班は中尾七隆リーダーで長柄駅を東へ～大和神社～上ツ道街道を越え～大和神社道を東へ～R169を渡り～1班と同じ道筋を東へ～萱生町環濠集落内へ～山の辺の道を1班と同じ道筋を～天理市トレイルセンター(昼食)～柳本公民館

ここでの発見は、萱生集落です。①きれいな石積み  
の大きな農家集落で、⑤刀根早生のあわせ作業場(炭酸ガスで渋柿を甘柿にする)の見学ができました。

3つの班はそれぞれ充実した「まち歩き」をしました。

今まで、なんとなく歩いたことのあるような街並みでしたが、目を凝らして眺めると、様々な発見がありました。

山の辺の道にある農家集落地区の、有史以前からの土着の人々により築かれてきたであろう良好な風土、豊かな田畑、河川と水路の制御と活用の知恵には、たくさんの着眼点がありました。そして、建築士の専門分野である建築物とその土地利用については、④農家集落の大和の家屋群 ⑤上ツ道街道沿いの町家家屋の街並みの近世以後の変遷 ⑥鉄道駅により開発された駅前道路沿いの様々な利便集約の住商公混在の建築物群等、それぞれに興味深いものがたくさんありました。

午後から柳本公民館に集合して、班単位にまとめ作業を行いました。白地図に経路を示し、プロジェクターにより撮影した写真を示し、概要を発表しました。夕方、無事解散となりました。後日、調査書と写真のまとめが第3回「まち歩き」として作成されます。

初めての私のまち歩きの感想として、まず、大和平野から東へ標高500m超えの春日山系を経て大和高原に至る、なだらかな傾斜地層の風光明媚な環境と、清らかな水の豊かな土地柄は、この地区の得難い財産であると思いました。

それと、長柄駅の駅エリアとして大和(おおやまと)神社とその御旅所と「ちゃんちゃん祭り」、萱生(かよう)の環濠集落、萱生(かよう)の柿「刀根(とね)早生(わせ)」の広大な柿畑と柿農家、駅を渡った西側に(旧)大和海軍航空隊大和基地跡。

柳本駅のエリアとして黒塚古墳と柳本藩の城跡と藩邸跡の歴史、大和平野につながる景観の中山町集落、弘法大師ゆかりの長岳寺、龍王山城跡と展望台、天理市トレイルセンター施設が東西に展開し、さらに、全域に山の辺の道と、大和(おおやまと)古墳群(中山古墳群と萱生古墳群)と、上ツ道街道の南北線が交差する、魅力満載のエリアであることを実感しました。

今回の「まち歩き」のエリアは「歴史的建造物等、地域の資源を掘り起こし、活用を考え、次世代まで住み続けるまちづくりにつなげよう」という「まちづくり委員会」の提案が実現する好立地にあると実感しました。なお、わたしの帰宅までの歩数は15,500歩で11kmの記録で、満足しました。

【記:情報・広報委員会 鈴木 茂】

北  
山の辺の道  
R169  
上ツ道  
JR

菅生町  
大和五墳群  
無名神社  
中山町  
菅生寺  
天理市  
(HILセンター)

岸田  
大和神社  
黒塚古墳  
公民館  
長柄駅  
岸田町  
柳本駅  
未定歩道

## お知らせ

### ●奈良県被災建築物応急危険度判定士養成講習会

(更新及び新規登録)

開催日：令和6年1月11日(木)

会 場：奈良公園バスターミナル レクチャーホール

※詳細、申込については後日ご案内申し上げます。

※会場へはなるべく公共交通機関をご利用下さい。

### ●令和6年新年大交歓会のご案内(予定)

日 時：令和6年1月26日(金) 18:30～

場 所：ホテルリガーレ春日野(奈良県奈良市)

### ●入会

持田 賢二 様(高田支部)

康富 尚貴 様(高田支部)

よろしくお願いいたします。

### ●賛助会員入会

安田 株式会社 様

大阪市中央区南船場 1-11-9 長堀安田ビル 7F

取扱品目：アルミ形材、アルミハニカムパネル

よろしくお願いいたします。



## 編集後記

私は、3ヶ月前に高田支部からの派遣で情報・広報委員となりました。

「士会奈良」は身近な人々の身近な出来事と身近な景色の紹介が、奈良大和を愛する私には親しみのある内容です。読み手から編集する人となった今、士会会員の方、読み手の方に、奈良を知り、奈良に親しみ、奈良を味わっていただくことを心掛けて、情報・広報の一端を担いたいと思いました。掲載記事には、各委員会の行事等の紹介がありますが、新米委員の役割には行事の体験もあると思って意気込んで参加を始めています。

9/30(土)は「木造公共建築物推進タスクフォース部会」主催の「十津川村災害対策本部拠点施設新築工事現場の見学会について」に参加しました。建物は十津川村役場の建物に連絡ブリッジで隣接しています。木造2階建てで、主要構造部材に十津川産の木材を使用し防災拠点施設(対策本部と診療所・他)となります。最高高さ10m弱で切妻金属板葺き屋根の堂々とした、印象的なデザインの外観でした。内部では、大断面の杉の無垢材と特別の接合金物の詳しい説明を受けて興味深い見学となりました。翌日、10/1(日)には、住いまちづくり委員会主催(奈良ヘリテージ支援センター・天理支部・桜井支部共催)の第3回「まち歩き」に参加させていただきました。この内容はこの11月号の掲載記事で概要を紹介させていただきます。

少しの経験でしたが、行事を主催される方々の大変なご努力と情熱を目の当たりにして、敬意の気持ちとともに、参加される方々のやる気に共感しています。会員の皆様には、今後の各委員会の行事のご案内に是非、お誘い合わせのご参加をお勧めいたします。

【情報・広報委員 鈴木 茂】

11月 10日(金) 第1回建築士サロン  
-天理教建築見学会



12月 6日(水) 監理技術者講習  
7日(木) 二級・木造建築士試験合格発表  
25日(月) 一級建築士試験合格発表  
28日(木) 事務局仕事納め  
29日(金) 年末年始休業(～1/3迄)

## 士 会 奈 良 通巻 652 号

令和5年11月1日(発行隔月1回1日発行)

発 行 所 一般社団法人 奈良県建築士会

〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館

電話：0742-30-3111 FAX：0742-33-4333

<https://nara-kenchikushikai.or.jp/>

[info@nara-kenchikushikai.or.jp](mailto:info@nara-kenchikushikai.or.jp)

発行責任者 米 村 博 昭

編 集 (一社)奈良県建築士会 情報・広報委員会



## 情報・広報委員会

委 員 長 福田 成生

副委員長 伊藤 吉郎

委 員 吉村 晃人

門脇 直也

永友 翔

上柿 範兼

小松原寛俊

押部 誠

小西 直樹

平田 正裕

溜谷 剛

松尾 憲治

鈴木 茂

洞 尚樹

# オリオン

他の追随を許さない唯一無二の「講習システム」と「合格実績」

学生/元受講生/提携企業社員/他講習生対象  
受験生応援キャンペーンがスタート

合格実績No.1の総合資格学院が  
受講料を大幅に割引します

総合資格学院 奈良校 TEL:0742-30-1511

## 1級建築士試験 関西エリア 合格実績 No.1

| 科目              | 合格者数  | 合格率   |
|-----------------|-------|-------|
| 1級建築士 学科・設計製図試験 | 271名中 | 58.7% |
| 1級建築士 設計製図試験    | 625名中 | 50.6% |

※関西エリア2024年4月～2025年3月までの試験結果です。2024年度試験結果は、2025年4月に発表されます。